

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和6年12月25日(2024.12.25)

【国際公開番号】WO2022/131366

【出願番号】特願2022-570077(P2022-570077)

【国際特許分類】

C 0 8 F 2 6 5 / 0 6 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 8 L 5 1 / 0 6 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 8 K 5 / 0 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 8 J 5 / 1 8 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

【 F I 】

C 0 8 F 2 6 5 / 0 6

C 0 8 L 5 1 / 0 6

C 0 8 K 5 / 0 0

C 0 8 J 5 / 1 8

【手続補正書】

【提出日】令和6年12月17日(2024.12.17)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

グラフト共重合体を含む、溶液流延法によるフィルム製造用樹脂組成物であって、

前記グラフト共重合体は、平均粒子径150nm以下、ガラス転移温度が-10以下であり、(メタ)アクリル系単量体単位及びスチレン系単量体単位を含む架橋(メタ)アクリル系重合体粒子(a)と、

30

重量平均分子量が30万以上であり、メタクリル系単量体単位とスチレン系単量体単位を含む非架橋メタクリル系重合体成分(b)を含み、

非架橋メタクリル系重合体成分(b)の少なくとも一部は、架橋(メタ)アクリル系重合体粒子(a)にグラフト結合しており、

架橋(メタ)アクリル系重合体粒子(a)と非架橋メタクリル系重合体成分(b)の合計のうち架橋(メタ)アクリル系重合体粒子(a)の占める割合が1重量%以上50重量%未満である、溶液流延法によるフィルム製造用樹脂組成物。

【請求項2】

架橋(メタ)アクリル系重合体粒子(a)と非架橋メタクリル系重合体成分(b)の合計のうち架橋(メタ)アクリル系重合体粒子(a)の占める割合が6重量%以上30重量%以下である、請求項1に記載のフィルム製造用樹脂組成物。

40

【請求項3】

非架橋メタクリル系重合体成分(b)は、メタクリル酸メチル単位を50重量%以上90重量%以下含み、スチレン系単量体単位を10重量%以上50重量%以下含む、請求項1又は2に記載のフィルム製造用樹脂組成物。

【請求項4】

非架橋メタクリル系重合体成分(b)は、N-置換マレイミド系モノマー単位、エステル部位が炭素数2~20の第一級もしくは第二級炭化水素基または芳香族系炭化水素基であるメタクリル酸エステル単位、エステル部位が縮合環構造を有する炭素数7~16の飽和炭化水素基であるメタクリル酸エステル単位、及び、エステル部位がエーテル結合を含

50

む直鎖状又は分岐状の基であるメタクリル酸エステル単位からなる群より選択される少なくとも1種を更に含む、請求項3に記載のフィルム製造用樹脂組成物。

【請求項5】

非架橋メタクリル系重合体成分(b)は、N-置換マレイミド系モノマー単位、及び、エステル部位が縮合環構造を有する炭素数7~16の飽和炭化水素基であるメタクリル酸エステル単位、のうち少なくとも1種を更に含む、請求項3に記載のフィルム製造用樹脂組成物。

【請求項6】

非架橋メタクリル系重合体成分(b)は、ガラス転移温度が110以上である、請求項1~5のいずれか1項に記載のフィルム製造用樹脂組成物。

10

【請求項7】

架橋(メタ)アクリル系重合体粒子(a)は、多官能性単量体を除く単量体成分のうち、アルキル基の炭素数が1~8であるアクリル酸アルキルエステル単位を60重量%以上95重量%以下含み、スチレン系単量体単位を5重量%以上40重量%以下含む、請求項1~6のいずれか1項に記載のフィルム製造用樹脂組成物。

【請求項8】

架橋(メタ)アクリル系重合体粒子(a)は、多官能性単量体を除く単量体成分100重量部、及び、多官能性単量体0.1~2.0重量部から形成される、請求項1~7のいずれか1項に記載のフィルム製造用樹脂組成物。

【請求項9】

請求項1~8のいずれか1項に記載のフィルム製造用樹脂組成物、及び、溶剤を含む、ドープ。

20

【請求項10】

グラフト共重合体、及び、溶剤を含むドープであって、

前記グラフト共重合体は、平均粒子径150nm以下、ガラス転移温度が-10以下であり、(メタ)アクリル系単量体単位及びスチレン系単量体単位を含む架橋(メタ)アクリル系重合体粒子(a)と、

重量平均分子量が30万以上であり、メタクリル系単量体単位とスチレン系単量体単位を含む非架橋メタクリル系重合体成分(b)を含み、

非架橋メタクリル系重合体成分(b)の少なくとも一部は、架橋(メタ)アクリル系重合体粒子(a)にグラフト結合しており、

架橋(メタ)アクリル系重合体粒子(a)と非架橋メタクリル系重合体成分(b)の合計のうち架橋(メタ)アクリル系重合体粒子(a)の占める割合が1重量%以上50重量%未満である、ドープ。

30

【請求項11】

請求項9又は10に記載のドープを支持体表面に流延した後、溶剤を蒸発させる工程を含む、樹脂フィルムの製造方法。

【請求項12】

請求項1~8のいずれか1項に記載のフィルム製造用樹脂組成物又は請求項10に記載のドープから溶液流延法により成形される樹脂フィルム。

40

【請求項13】

前記樹脂フィルムは厚みが1~500µmである、請求項12に記載の樹脂フィルム。

【請求項14】

前記樹脂フィルムは、位相差フィルムである、請求項12又は13に記載の樹脂フィルム。

【請求項15】

偏光子と、請求項12~14のいずれか1項に記載の樹脂フィルムを積層してなる、偏光板。

【請求項16】

請求項15に記載の偏光板を含む、ディスプレイ装置。

50